

紅蓮なす ―金子兜太をしのぶ

宮坂 静生

兜太亡し春の雲海紅蓮なす
磐石のぽかと空きたる春北斗
雪解星走りきつたる寵児たり
春暁の山脈紫の喪章
春雷が天の弔^{ちよう}砲^{ほう}熊貓莊主人
化けて出る愉しみ残し朧の世
犬ふぐり犬のふぐりもよかよかと



担はれて巖うごき出す牡丹鍋
心中の枯れ留めむと兜太へ文
霾るや声を掲げて「許さない」
頭に仏乗せるる仏陀花辛夷

*

青島

春の使者鬼の洗濯岩叩き
人間の枯れ出す音をひとつづつ
冬麗の空擦過音阿久悠よ
瞑^{めつむ}るとは生死の境冬芒

